

農業委員会だより No.53



人事異動による新しい職員の紹介

平成27年4月1日付の人事異動に伴い、新たに2名が就任しましたので、紹介します。

○農業委員会 事務局長 吉原 敏治

「この度、4月1日付の人事異動により、農業委員会事務局長を拝命しました。よろしくお願いたします。日野町の基幹産業である農業、農政の一翼を担うことに責任の重さを痛感しています。農業を取り巻く環境が著しく変化する中で、担い手や新規就農者支援、農地の適正な管理についても、一層の充実を図っていきたく思います。

最後に、農業委員の皆さま、関係各位の皆さまのご指導、ご鞭撻を仰ぎながら、誠心誠意対処していく所存です」

○農業委員会 副主幹 山縣 実

「この度の人事異動で、農業委員会事務局へ異動となりました。

日野町の農業は、農家の皆さんの支えがあって成り立っているものと考えています。農家の皆さまが明るい希望を持って農業に取り組んでいける農政になることを願って、日々の業務に取り組んでいきたいと思ひます。

また、農政に携わる業務は全くの初めてで不慣れな点があり、農家の皆さまをはじめ、関係者の皆さまにご迷惑をおかけすることも多々あるかと思ひますが、何とぞよろしくお願いたします」

耕作目的で権利移動する場合の手続きについて

問. 田や畑などの農地は、勝手に売買したり、ほかの用途に転用したりできますか？

答. 勝手にはできません。優良農地を確保するため農地法により制限されており、許可が必要です。

耕作目的の農地の権利移動（農地法第3条）

▼売買などにより、耕作目的で農地の権利を移転するには、農地法第3条による農業委員会の許可が必要です。

※ただし、許可を申請する人は、申請地を含めて30～50アール以上耕作（地域により設定されている）している農家および農業生産法人などであることなど、一定の要件があります。

▼許可を受けず、勝手に所有権移転をした場合は法律的に無効です。

（相続による取得の場合は、農業委員会への届け出が必要です）

ご存じですか 『農業者年金』

農業者年金は、農業に従事する人の老後をサポートする年金です。

① 農業従事者が幅広く、一人一人の年金を掛けられます。

② 『積み立て式』の年金制度です。

③ 保険料は、一口・月2万円。最大6万7千円まで自由に選べ、途中で変更もできます。

④ 支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象になります。

▶ 詳しいお問い合わせは、農業委員会（電話 72-2103）または農協窓口（電話 72-0305）まで

日野郡鳥獣被害対策協議会 からのお知らせ

【協議会活動報告】

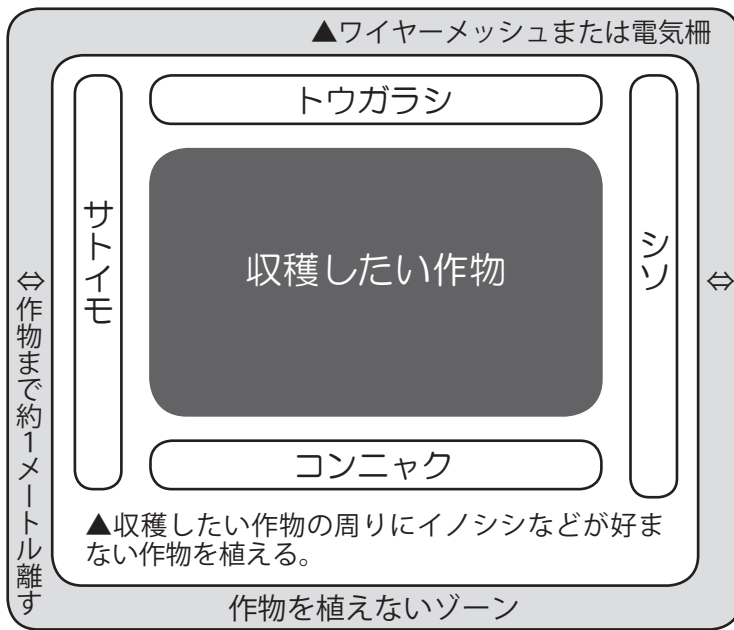
5月26日、同協議会の実施隊員が、鳥獣害対策の現地研修として広島県庄原市西城町を訪れました。参考になることがたくさんありました。

日野町でもできる事例を紹介しますので、イノシシ対策に役立ててください。



▲熱心に耳を傾ける木下、高野隊員（右2人）

【日野町ですぐできる対策】 「ひそみ場」と「餌」



▶ひそみ場の解消

「自分がイノシシのように動物の身になって」考えてみたら、ここだったら人に見えない。こんな場所は草刈りや藪はらいを実施する。

※耕作地から少なくとも2m以上

▶餌

- ・耕作地外の収穫しない果樹木の除去
 - ・耕作地いっぱいイノシシの好物となる野菜などを作らない。
 - ・ワイヤーメッシュ、電気柵から1mは開ける（作物を何も植えないゾーン）。
 - ・イノシシの嫌いな物「トウガラシ、コンニャク、サトイモ、シソ」を収穫したい作物のまわりに植える。
- ※狭くなった畑では、カボチャ、スイカなどの立体栽培がおすすめです。害獣に強い畑にしましょう！

「何をやるか」よりこの順序が大事！

（庄原市鳥獣害対策パンフレット「私にもできる！獣害対策」中、「井上雅央さん」のお話から）

①みんなで勉強

- ・獣害が増える原因として誰もが思いつのが、過疎・高齢化、人工林の増加、地球温暖化、狩猟者の減少。しかし、これらは原因ではない。
- ・ある集落で獣害が激化したとすれば、原因はその集落みんなで「餌付け」に成功しただけのこと。
- ・対策は、集落のみんなが原因を正しく知り、餌付けをやめるだけでいい。

②守れる集落・守れる畑

- ・獣害にあったということは、「人慣れ学習」「餌の準備」という2つの条件が畑にそろっている証拠
- ・「せっかく出てきたのに何も食べられず、怖いところだった」。野生動物にそういう経験を積ませることが出来る畑こそ、「守れる畑」である。

③自分でやる囲いや追い払い

- ・①、②と順序を守って対策を始めれば、イノシシの来る回数も減ったりすることも多い。そうすれば、「自分でやる囲いや追い払い」も効果が高くなる。

④捕獲・大規模柵

- ・4番目に「自分ではできない捕獲・大規模柵」。ここから始めるのは失敗のもと。①、②、③と順番に対策を重ねた集落では、ワナの捕獲効率も格段に上がる。

▶広島県庄原市鳥獣害パンフレット「私にもできる！獣害対策」（HP アドレス）

<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/industry/ringyo/post-29.html>

【問合せ先】日野郡鳥獣被害対策協議会（日野振興センター内）電話 72-1399